

柏清風	11人
公明党	8人
新政	5人
日本共産党	4人
護憲市民会議	3人
政和会	2人
市民サイド	2人
無所属	2人
定数40名 現員37名	
平成22年10月19日現在	

9月定例会

柏市版事業仕分けに議論が集中

評価人・対象事業の選定基準は

平成22年第3回定例会では、正副議長の選挙、常任委員会の正副委員長互選等が行われ、新しい体制で審議が行われました。議案では、市立高等学校授業料等徴収条例の一部改正や災害対応特殊救急自動車取得、総額を約8億3918万円増額する一般会計補正予算などについて、活発な議論が行われました。慎重な審議の結果、18議案を可決・同意としました。決算に関する3議案は継続審査となりました。また、議員提出議案として提出された会議規則の一部改正及び子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書を可決しました。

可決された主な議案の概要

- 市立高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定について
高等学校等の在学期間が通算して3年を超える者以外については、授業料を徴収しないこととする。ただし、留学、休学、療養その他のやむを得ない事由により3年を超えて在学することとなった場合には、修学上必要と認められる期間は、在学した期間に通算しないこととするもの。
- 地域活動支援センター条例を廃止する条例の制定について
地域活動支援センターを廃止するため、条例を廃止するもの。
- 財産の取得について（災害対応特殊救急自動車）
災害対応特殊救急自動車1台を約2,724万円取得するもの。
- 財産の取得について（こんぶくろ池公園用地）
こんぶくろ池公園用地を3億3,099万円取得するもの。
- 市道路線の認定について
市道路線36路線を認定するもの。
- 平成22年度柏市一般会計補正予算について
平成22年度柏市一般会計予算の総額を約8億3,918万円増額し、約1,129億1,987万円に補正するもの。
- 平成22年度柏市介護保険事業特別会計補正予算について
平成22年度柏市介護保険事業特別会計予算の総額を約1億5,113万円増額し、約158億1,713万円に補正するもの。
- 防災予防条例の一部を改正する条例の制定について
固体酸化物型燃料電池による発電設備で火を使用するものの位置、構造及び管理の基準を新設するもの。また、複合型居住施設用自動火災報知設備を設置したときは、住宅用防災警報器や住宅用防災報知設備を設置しないことができるものとするもの。

定例会の流れ

◆招集日 (9月3日)

市長から市政報告、副市長からの議案の提案説明に続き、正副議長の選挙、常任委員会の正副委員長の互選等を行いました。また、議員選出監査委員選任議案に同意しました。

◆質疑並びに一般質問 (9月9・10・13・16日)

20人が登壇し、市政各般及び議案に関する質疑並びに一般質問を行いました(2・3面に掲載)。

◆委員会 (9月17・21日)

17日に教育民生と建設経済21日に総務と市民環境委員会を開催し、議案・請願を審査しました(3面に掲載)。

◆採決日 (9月24日)

各委員会で審査した議案・請願について委員長報告が行われた後、採決を行いました。また、議員提出の2議案が上程され、可決しました(4面に掲載)。



御参り (逆井 観音寺)

撮影者：新田策郎さん
撮影時期：平成21年11月下旬

新正副議長を選出



やまうちひろいち
山内弘一 副議長

就任あいさつ



やまだかずひと
山田一一 議長

市民の皆様には、市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
このたび私たち両名は、9月定例会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長並びに副議長に就任いたしました。その使命と職責の重さを痛感しております。
本市におきましては、今日まで県北西部の中心都市として発展を遂げ、8月には人口が40万人を突破しました。一方で、景気低迷の影響により依然厳しい財政状況が続いておりますが、少子・高齢化への対応など解決すべき課題は山積しております。市議会といたしまして、果たすべき役割を十分認識し、市民の皆様のご期待にこたえるべく鋭意努力してまいります。
今後とも、市議会への一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。